

平成28年度 第1回山武市総合教育会議 会議録

日時 平成28年8月26日（金）午後3時30分
場所 山武市役所 車庫棟 第8会議室
議題 山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について
報告 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業について
山武市中学校英語教育推進事業について
山武市小中学校共通ダンスプログラムについて
今後の予定について

出席者 ◎市長 椎名 千収
◎教育委員
教育長 嘉瀬 尚男
教育長職務代理者 小野崎 一男
委員 五木田 孝義
委員 高柳 善江
委員 今関 百合

○関係職員
副市長 高橋 一嘉
総務部長 石橋 和記
教育部長 小川 雅弘
保健福祉部長 川島 勝喜
総務課長 荒木 康之
財政課長 鈴木 幸宏
企画政策課長 越川 俊
子育て支援課長 秋葉 絹
子育て支援課主幹 有井 實
教育総務課長 伊藤 かほる
学校教育課長 井上 博文
学校教育課指導室長 織本 富生
生涯学習課長 越川 正

・事務局

教育総務課副主幹 小関 正徳
教育総務課総務企画係主査補 鈴木 慎太郎

◎開 会

教育部長

ただ今から、平成28年度第1回山武市総合教育会議を開会いたします。

皆様には、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。それでは、早速、次第に沿って進めさせていただきます。

初めに、椎名市長よりご挨拶をお願いいたします。

市長

本日はお忙しい中、お集まりをいただき、第1回の市長部局と教育委員会の間での意見交換の場としての、総合教育会議を開催するに当たりましてご挨拶申し上げます。

今年度に入りまして、皆様方にも大変ご苦勞をおかけしていたことについて、住民に対したび重なる説明会を開いてまいりましたけれども、なかなか難しい状況がございます。

一方で、私どもといたしましては、今、地方創生の枠組みの中で、地方の再生をどのようにしていくかということで、山武市の提案いたしましたプログラムを国のほうで認めていただいて、蓮沼地区に関しては一定の政策がとれる状況にはありますが、これを、やはり今回の説明の中でも、まちづくりという観点からお話をして、全く個性的なものにすることは私の教育施策のあり方として、そうあつてはならないと考えてございますので、あえてこの問題につきましては、地域まちづくりの観点から、現実には、この問題も、これからの地域としては大きく変わっていくべきものと考えております。

9月議会が近づいてございますので、今回、地域からのご意見をいただいて、それを議会のほうにも、これからの学校等についてのあり方をお示して、ご意見をいただかなければなりませんので、多少、今までの経緯を踏まえて、できれば実をとっていきたいと思っておりますけれども、必要な修正があれば修正していきたいということでここに会議を招集いたしました次第でございますので、皆様方のご意見をいただいてまとめていきたいと思います。

よろしくお願い申し上げます。

教育部長

続きまして、嘉瀬教育長にご挨拶をお願いします。

教育長

皆様、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今回、第1回目の山武市総合教育会議ということで、教育委員会

にとりましては、最も大きな事業の1つであります小中学校の適正規模・適正配置についての基本計画案、これについて、今回、議題となっております。

この計画案につきましては、今、市長からもありましたように、各小中学校、園等で説明会を開催して、意見をいただけてきたところでございます。さらに、そういった中で、蓮沼地区のほうから、署名活動があったり、または要望書の提出を受けたりという状況でございます。そういったことを踏まえまして、教育委員会としても協議をし、また、あり方検討委員会の意見等もいただきながら、一部修正を検討してまいりました。

その辺の部分につきましては、今回、この総合教育会議の中で意見調整をしながら方向を定めていければと思いますので、本日はよろしくお願ひしたいと思ひます。

教育部長

それでは、これより議事に入ります。

なお、議長につきましては、山武市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定により、市長に議長となつていただき、議事の進行をお願ひしたいと思ひます。市長、よろしくお願ひします。

◎議 事

○山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について

市長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

山武市立小中学校の規模適正化・適正配置についてを議題とします。

それでは、事務局のほうから説明をしていただきます。よろしいですか。

では、お願ひいたします。

教育総務課長

教育総務課の伊藤と申します。よろしくお願ひします。

それでは、山武市立小中学校の規模適正化・適正配置について説明をさせていただきます。

まず、説明会の意見等について説明をさせていただきます。資料の1ページをご覧ください。4月から7月にかけて、小中学校及びこども園等に出向き、説明会をさせていただきました。参加者は、小中学校で631名、こども園等で211名、合計842名でした。

説明会での主な意見や質問について、説明をいたします。

それでは、1ページが一番上です。4月22日16時15分、睦岡小学校、こちらはPTA総会の後でした。29名の方に参加していただき、このときは意見や質問はございませんでした。

続いて4月23日13時50分、こちら豊岡小学校、PTA総会の前に行いました。48名の方に参加していただきました。

一番上の質問ですが、統合に向けて3年ほど期間があると思うが、交流についてどのようにお考えか、お聞きしたいということで、こちらについては、子どもたちの交流を増やして進めていくという回答をさせていただきました。

続いて5月7日10時から、日向小学校で、こちらは奉仕作業の後で、51名の方に参加していただきました。

意見としては、一番上のできるだけ広範囲でスクールバスを出してもらいたい。これについては、統合前2年間の統合準備専門部会で検討いたします、この統合準備専門部会には保護者も入っていただき、検討を進めてまいりますという回答をいたしました。他にも、学校の備品はそれぞれの学校から持っていくのか、それとも全部新しくそろえてくれるのかというご質問がありました。これについては、あるものを有効活用したいということで説明をいたしました。

続いて5月12日18時30分、こちらは山武中学校です。PTA役員会の前に開催させていただきました。64名の方に参加していただきました。

ここでの質問ですが、統合の前段階から、日向小学校や山武西小学校のお子さんと山武中学校に入学希望される方がきつというと思う、山武中学校に近いお子さんは前段階から入学を希望されるかと思うのですけれども、そういうお子さんは、順次、認めるのかという質問でした。現在も就学指定校の変更はあります。ただし、条件が整わなければ認めていませんので、この場合でも、条件が合えば認めていくよという回答をさせていただいております。

続いて5月13日13時30分から成東小学校で、PTA役員会の後に開催させていただきました。このときは71名の参加をいただきました。

なるべくこまめに足を運んでもらって、話を多くの人に聞いていただきたい、成東東中学校は海に近いので、成東中学校みたいな山側のほうが親としては安全だと考えるというご意見に対し、津波のシミュレーションでは、このあたり、成東東中学校は大丈夫だよということで回答をさせていただいております。

5月18日18時から山武北小学校、こちらはP T A役員会の前に開催いたしました。35名の方に参加していただきました。

一番上の少人数指導講師の配置というのは、わからない子を残して先に進まないで、きちんと教育していただけるのかというご質問に対し、県でも少人数指導講師を配置してくれていますが、市独自でも配置をしています。ただ、少人数指導講師も十分な人数が確保できるわけではないので、ある程度の規模を確保し、教員を確保したいということで回答をさせていただいております。

続いて5月19日18時30分から成東中学校で、こちらはP T A役員会の前に開催させていただきました。27名の参加をいただいております。

一番上の質問なのですが、成東中学校と成東東中学校で、もう統合はやむなしと思う、校舎が新しいから成東東中学校のほうに校舎を移すことなのかというご質問に対し、新しい耐震基準の後にできた学校でもあるため、有効活用をしたいということで回答をさせていただいております。

続いて5月21日10時50分から松尾小学校において、奉仕作業の後、28名の方に参加していただきました。

2つ目です。洗心館もできまして、英語に触れるとか、国際文化に触れるような講座を小学生向けにできないかというご質問に対し、授業の中で、異文化交流としていろいろな国の方々と交流を図っていますという回答をさせていただいております。

続いて2ページになります。5月26日、緑海小学校で14時から、P T A役員会の前に開催をさせていただきました。57名の方に参加をいただきました。

こちらの質問ですが、新しい環境に置かれたときの子どもとしては、不安定になってしまうのかなというのがあったので、フォローが必要ではないかなと思いますという質問に対し、統合前の2年間の準備期間で計画的に交流を進めていきますという回答をいたしております。

5月27日18時30分から山武南中学校で、こちらもP T A役員会の前に開催をさせていただきました。

山武南中学校は前向きなご質問でございました。統合した後の部活動はどういうふうになってゆくの、部活動に対してのご質問がありました。今、行っている部活動を保証できるように教育委員会としても話をしていきますよということで回答をさせていただいております。

続いて6月2日13時30分から大平小学校で、引き渡し訓練の後、開催をいたしました。こちらは22名の方に参加をいただいております。

松尾小学校と豊岡小学校を統合した場合に、松尾中学校に仮設校舎をつくるに当たって、部活動の活動場所とか受験も考えると、小学生が来ることによる環境の変化、そのあたりの具体的な対策についてはどのように考えているのかというご質問でした。コストの面で計画されているが、今後の検討に加えていきますという回答をいたしております。

続いて6月16日、蓮沼小学校で13時から、こちらはオープンスクールのお時間を利用して開催をさせていただきました。こちらは蓮沼小学校で行いましたが、蓮沼中学校と合同の説明会となりました。35名の方に参加をさせていただきました。

統合についてですが、メリット、デメリット、何にでもあると思うのですけれども、小中一貫校というやり方もあるのではないかと質問がまず出されました。小中一貫校にしても中学生の人数は変わらない、市が課題としている学習環境の整備はできないという回答をいたしました。そのほかにも、統廃合に理解していない方々の反対の意見がそちらに書かれております。

続いて3ページをご覧ください。6月17日14時から山武西小学校で、引き渡し訓練の前に開催いたしました。48名の方に参加をいただいております。

一番上にありますが、山武南中学校であった部活動が、山武中学校で廃止になるということはあるのかというご質問の中で、両校にある部活動は統合後もできるように環境はつくっていききたいということで、教育委員会で回答をいたしております。こちらにも、前向きなご質問が多く、制服のこととか、統合後の諸課題についてのご質問がありました。

6月18日11時から成東東中学校で、こちらは奉仕作業後、13名の方に出席させていただきました。

この計画は決まってしまったことではなく、今からこの計画をつくっていきましょうということなのかというご質問でした。2月の意見を聞く会から始まって、今、説明をしている段階です、皆さんの意見を聞くために今回も開催をさせていただいておりますということで回答させていただきます。

続いて、6月25日14時40分から大富小学校で、授業参観後、開催をいたしました。61名の方に参加をいただいております。ご質問の

一番上ですが、昨年、説明会を行った際には、成東中学校と成東東中学校と統合という話はありませんでしたが、場所までは選定されていませんでした。統合の場所とかの連絡もないし、そういった会に呼ばれたこともありません、ある程度、既定路線といった形で場所も選定されている、この状況で自分たちに何の意見を求めようとしているのかというご質問がありました。

この計画は決定ではありません、計画案としてお示しをしていますが、説明会で方針だけでは何も判断できないという意見があったために、具体的に案を示させていただいている状況ですということで、回答をさせていただいております。

続いて、4ページをお願いいたします。6月30日14時30分から鳴浜小学校で、授業参観の後、開催をいたしました。こちらは8名の参加をいただいております。

小学校は複式学級が見込めなければ統合はしないということですかというご質問に対し、優先として複式学級が見込まれた場合に統合を考えていきますと回答をいたしております。

続いて、6月30日18時45分から、南郷小学校でPTAの役員会の前に開催をいたしました。23名の方に出席をいただいております。

こちらは、2つ目ですが、既存の建物とか、有効に使ってもらうことはとてもいいことだと思う、子どもたちのために統廃合を進めていただくということで、皆さん、考えていただいていると思うので、私はその方向でお願いいたしますという賛成の意見をいただいております。

こちらが17校のご意見、簡単ですが、意見としての説明をさせていただきました。

続いて、こども園等についての意見を説明させていただきます。5ページをご覧ください。

6月18日8時45分からおおひらこども園で、こちらは保育参観のときに開催をさせていただきました。85名の方に参加していただいております。

質問ですが、蓮沼中学校と松尾中学校が統合した場合、スクールバスはどこが対象なのか、自分の地域も回れるのかというご質問でした。これは、具体的な部分については、統合前の専門部会の中で協議をしていきますと回答いたしております。

7月2日9時30分から蓮沼保育園で、こちらは保護者会のときに開催をさせていただきました。28名の方に参加をいただいております。

す。

統合による子どもたちに対するデメリットを教えてくださいというご質問に、中学校で考えると、通学の部分でやはり距離が長くなるため、部活動などの制限がかかる部分が考えられるということでお答えをしてあります。そのほか、蓮沼保育園では、蓮沼小学校、中学校の説明会のときに参加していただいた方がほとんどでございました。同じような意見で、統廃合に理解をされていない方たちの意見が多いということになりました。

続いて6ページをご覧ください。7月11日11時55分からなんごうこども園で、親子歯磨き教室のときに開催をいたしました。10名の参加をいただいております。

一番下の質問ですが、グローバル人材を育てるというわりには、小学校の英語教育がちょっとほかよりもおそいような感じがするんですけれどもというご質問でした。小学校については異文化交流を始めております。こども園については、ALTとして英語の授業も始めておりますという説明をいたしました。

続いて、7月14日11時30分からむつみのおか幼稚園で、こちらも説明会だけで開いていただきました。12名の方に参加をいただいております。

一番上ですが、山武中学校と山武南中学校が統合した後は、制服は変わる予定でしょうかというご質問でした。こちらも、統合準備専門部会で制服、体操服などについては、変わったとしても、今現在、使っているものをそのまま使っただけですよ、なるべく負担がかからないように考えていますということで、回答させていただいております。こちらも前向きなご質問が多かったと思います。

続いて、7月14日16時から日向保育園で、こちらも説明会だけで開催をしていただきました。14名の方に参加していただいております。

一番上ですが、統合されるときというのは、いきなりその年度から一緒になるのでしょうか、その前にならし期間というか、例えば体育祭を2年くらい前から一緒にやって交流を深めるなど、そういう考えはないのでしょうかということでした。こちらは、交流を事前に進めていきますという回答をいたしております。こちらも、統合後の諸課題についての質問であり、統合については前向きであったと思います。

続いて7ページをご覧ください。7月15日13時30分から日向幼稚園で、こちらは説明会を開いていただきました。20名の参加をいた

だいております。こちらにもスクールバス等のご質問であり、前向きな質問でございました。

続いて7月19日10時10分、しらはたこども園で説明会を行いました。11名の方に参加をいただいております。

こちらにも反対の意見はございませんでした。一番上の、4つの部会と言っていたのですけれども、PTAの役員の方がいると思います、それとは別に役員を選出するのですかというご質問でした。役員とは限りません。今のところPTAの代表の方からお願いしたいという考えでございましてということで、回答をいたしております。

続いて7月29日の16時から、まつおこども園で説明会を開催いたしました。22名の方に参加をいただいております。

一番上のご質問ですが、複式学級で、例えば3年生、4年生と一緒に授業をしているときに、学年によって勉強のレベルが違うじゃないですか、どちらのほうに合わせて授業をしているのでしょうかというご質問でした。3年生と4年生が一緒だからといって、3年生が4年生の授業を受けるわけではございません、前半と後半に分ける場合とか、また講師が配置される場合があって、それぞれの授業を行いますということで回答をいたしております。

最後になります。8ページです。7月29日18時から若杉保育園で説明会を開催いたしております。9名の方に参加をいただきました。

一番上の、先ほどの説明の中で教師が足りないという話があったと思いますが、学校が統合されればそれは解消されるのでしょうかというご質問でしたが、統合すると子どもが増え、学級数も増えるので、教師が足りないという部分は解消されますということで、回答をいたしております。

以上が説明会でのご意見、また回答になります。

続いて、資料2をご覧ください。9ページになります。蓮沼中学校の統廃合に反対し存続を要求する署名について、こちらが提出されてまいりました。それについて説明いたします。

蓮沼の学校問題を考える会より、蓮沼中学校の統廃合に反対し存続を要求する署名が8月4日に提出されました。考える会は、8名の方が来庁され、市長と教育長に対応をいただいております。

署名の趣旨ですが、枠の中の下から5行目です。「蓮沼中学校は小規模校でも生徒一人ひとりに目が行き届き、手厚い指導が受けられる教育環境です。次の世代にも子育て環境の整った蓮沼地域で育てたい。その為には蓮沼中学校の存続を要求する」という内容です。

市長が統合についての理解を求めましたが、考える会は蓮沼中の

存続を求めました。

反対署名は1,126人分で、山武市内と市外に分けると、市内1,070名、市外56名となります。市内のうち、蓮沼地域は900名となっております。

続いて、10ページをご覧ください。資料3になります。8月9日に、考える会の代表より、蓮沼中学校の統廃合反対に関する要望書が提出されました。要望内容は3つございました。1つ目として、平成36年から統廃合の話し合いを進めてほしい、2つ目が近隣市外学区外からの寛容な受入ができるようにしてほしい、3つ目がモデル校となるような存続できる学校の検討でした。

続いて資料4、11ページをご覧ください。こちらは、大富小学校のPTAが行った学校のあり方に関するアンケートについてです。提出日は28年8月12日、教育委員会に提出をされました。取りまとめ者は大富小学校のPTAです。

アンケートの実施日は7月11日から7月19日まで、対象者は大富小学校の保護者でした。

回答数は、全世帯数77世帯に対して54世帯です。

設問は大きく3つありました。1つ目が、成東中学校と成東東中学校の統合については賛成ですか、反対ですかという設問です。賛成、どちらかといえば賛成が13世帯、反対、どちらかといえば反対が32世帯、わからないが9世帯でした。

賛成、どちらかといえば賛成の理由。部活動の選択が広がるが9票、友達関係が広がるが7票、社会性・社交性が高まるが7票、競争心が高まるが5票、財政負担が減るが9票、その他、仕方がない、成東中学校があまりにも古い。3つ目です。反対、どちらかといえば反対の理由です。きめ細やかな指導が難しくなるが15票、通学にかかる負担が大きい30票、母校がなくなるが11票、地域への影響が9票、環境の変化に伴う精神的な負担が11票、その他の意見として、防犯に関する問題、成東東中の学区の不審者情報、素行不良の心配、学力低下、統合年度が受験になる、5校の小学校が1つの中学校に集まる、以上のような意見をいただいております。

12ページには、以外の意見や要望等が示されておりますので、ご確認をお願いします。

今までご説明させていただいた内容等を踏まえまして、8月17日に行われました教育委員会第8回定例会において、基本計画案について協議を行いました。2月に実施した意見を聴く会、4月から行っている学校や園での説明会、今回の署名や要望書等を鑑み、基本

的には計画を生かし、時間を要するところは修正を加えて地区との協議を進め、計画案に修正を加える必要があるだろうということで、継続協議といたしました。また、学校のあり方検討委員会から意見をいただこうということにもなりました。

8月24日には学校のあり方検討委員会を開催し、この件について意見をいただきました。委員それぞれの意見をいただきながら、最終的には、あり方検討委員会では、基本計画案の中の豊岡小学校、松尾小学校の統合、日向小学校、山武西小学校の統合、山武中学校、山武南中学校の統合については、計画案のまま進めてよいのではないかというご意見をいただいております。

また、蓮沼中学校、松尾中学校の統合、成東中学校、成東東中学校については、署名や要望書等もある中、統合の時期等についてさらなる検討が必要であるという意見をいただいております。

そのような意見を踏まえて、事務局では、蓮沼中学校と松尾中学校の統合について、ただ今、平成32年4月1日に新設校を開校しますとなっておりますが、そこを、前期計画期間中の開校に向け検討します、また、成東中学校、成東東中学校の統合の開校の時期については、現在は平成35年4月1日に新設校を開校しますというふうになっておりますが、平成35年4月の開校を目指し検討しますと修正したらいかがと考えております。

この点についてご検討をいただきたいと思います。

説明については以上です。よろしく願いいたします。

市長

事務局から、この間にいただいたご意見、学校のあり方検討委員会の中での、このように修正したらよろしいのではないかという案を説明していただきました。

この件につきまして、委員さん方、ご意見がございましたらお聞きをしたいと思いますが、いかがでしょうか。

松尾の豊岡小学校と松尾小学校、山武の日向小学校と山武西小学校、あとは山武中学校と山武南中学校ですね。これについては計画どおりで進めたいということでそのままにして。特に反対がありません蓮沼中学校と松尾中学校、この前期の計画の中で検討したらどうかということ、成東中学校、成東東中学校についてももう少し検討したほうがというようなことで、基本的には少し時間をかけてということになるかと思っております。

私のほうからちょっとお話をさせていただきますと、ここに、さまざまな意見をいただいているのですが、私のほうからも、説明会

に参加させていただいて、できる限りといいますか、100%、教育環境をいかに整えるかということで説明をさせていただきました。ですが、ここに出てくる案、反対意見というのはかなり、基本的に言いますと、現状を変えたくない、今ある格好でやってほしいというところと、大きくまちづくりで努力が足りないからだということで、この点につきましては、これは教育問題とちょっと別の問題だと。私どもの市長部局としても鋭意努力はしてきているのですが、市民の方々からは何をやっているんだというご意見でございました。

これは、なかなか言うはやすくして結果がなかなか得られない状態ですので、それを待っていて、教育の環境を整えるということをあまり先送りはできないというふうに思いますので、できるところはしっかりと取り組んでいかなければならない。

それから、地域でこのように反対の声を上げている方が活動をしているところにも、もう少し時間を置いてご理解いただくことを基本にするというのが、事務局のほうから示された部分だと思います。

まちづくりのほうでは、特に蓮沼地区のご意見の中で、蓮沼から人がいなくなってしまうということ、もっとまちづくりをしっかりやる、そういったことも含めて、今回、地方創生の中で、蓮沼の中学校に積極的に誘致を心がけてきて、この件につきましては、国のほうの理解を得られて、今回、地方創生の中で、それに関しての補助金をいただけるというところまで来ておりますし、相手方の学校も積極的な態度を示していただいているので、まちづくり的な観点からすればむしろ進めたいのですが、今回、こういう形でまとめますと、少し時間をかけるという中では難しくなると判断として、学校側としても地域で歓迎されないところに無理につくるということにはならないかもしれないので、今回、こういう形でまとめて、もう白紙に戻そうということではありませぬので、私のほうとすれば、地域にもう一度、時間をかけますよということをお示しして、一旦、ボールを投げ返して、今度はまちづくりの面から少し地域を考えていただかなければいけない。

今までは教育ということだけで、今回も、教育会議としては、教育的な考え方のもとでこのように事務局案の了承をいただければ、ここは教育的な見地から考えまして、少しお時間をいただいて地域のご理解をいただきたいのですが、そうすると、まちづくりの面からは間違いなく一つの機会を逃すことになります。これは、地域としてもう一度、ボールを投げ返しますので、そこは地域としてもう一度、考えていただく時間としてはそれほどありませんが中日本航

空専門学校に待っていただけるのも、何カ月という単位になりますけれども、一旦、投げ返して、地域でご検討いただくということをしなければいけないのかなと。

これは、議会のほうにもそういうふうに説明をさせていただいて、地域として先送りだとなれば決断をしなければいけないという状況です。

五木田委員

私も、蓮沼中学校の問題については、一住民として、難しい問題をはらんでくるなど。あくまでも、私たち教育委員会は、子どもたちの教育環境を整えるというスタンスでありますので、地域づくり、この反対意見を提出した人たちとはスタンスが違います。ですから、この問題については、私はもう少し地域から、本当に900という数は結構大きな数ですので、あり方検討会でも地域づくりを含めた発言がありました。ですので、時間を少しかけて、ようやく蓮沼中学校のあり方について住民たちが考える、署名をしたりして考える手だてになったといえますか、啓発されたといえますか、そんな感じを私は持っているわけなんですけれども。

ただ、子どもたちは将来がありますから、学校のあり方については、文科省が、昨年度、約60年ぶりに指針を示したわけですがけれども、それとは別に、山武市の教育委員会は平成24年からずっと時間をかけてやってきているわけでありましてけれども、この問題については、蓮沼中学校は他の中学校区と違った背景があるというところがありますし、大変時間がかかる問題じゃないかなと思っています。そこら辺をよくご理解をいただきたいなとは思っています。

市長

いずれにしても、総合教育会議としては少し時間をという形でお示しをしますが、地域としてお考えをいただくということも投げなければなりませんので、こういった中で、ここに出てくるご意見というのは、蓮沼地域の将来を随分心配されていますが、実際には、私どもとすると、このままで置いておくことが、蓮沼の将来につながるというふうには考えていないんです。反対されている皆様方はそういうことで、統合することによって蓮沼は衰退するかと考えているものですから、もう少し地域としてご議論をいただくしかないと思います。今回の中では、前期の中でもう少し時間をかけるということでありましてけれども、その中で、できるだけ早く方向性を出ししていけるよう努力していく。また、中日本のことに関しましては時間がほとんどありませんので、地方創生で国のほうから私ど

ものプログラムというものを認めていただいて、そこに交付金をつけていただくのはかなりの仕事で、千葉県の中でもなかなかお金がついてこないという中で、そういった意味では1つの成功例に近いので、私どもとすると、この地域の将来のためにいいのだろうなというふうに思っています。やはりそうはいつでも、地元あつてのというところもありますので、それについては、とり急ぎもう一回ご検討いただくということをお願いしなければと思うところでございます。

教育長

今、市長からもお話がありましたし、五木田委員からもありましたように、教育委員会としてのスタンスと、反対されている方、またまちづくりの部分と違いがあるので、今までは教育委員会の意見と地域の方たちという説明や意見交換をしてきたわけですがけれども、今後はそういったことを含めて、トータルな協議にしていかなければいけないだろうなと思っています。

そのために、今回、この計画案を修正していくということになっているわけですがけれども、この修正の内容というのが、もともとの案であったところから、幾つか変えていきたいなと思っています。ですので、今、教育委員会としてはこういう修正をしていきたいというところに対して、この場で、ある程度、皆さんのご意見の合意を得られればと思います。

市長

それは、教育委員、教育長のほうから。

教育長

そうですね。一応、今までの経緯の中で、事務局から説明があったように、修正していくということで大筋合意をいただいております。その中で何点か修正していきたいというところなんですけど、大きなところでいきますと、蓮沼中学校と松尾中学校の統合の中で、前文の中の最後に「地域性及び通学距離を考慮し2校で統合します」とはっきりここで言い切っている部分があるんですが、ここを2校での統合について検討していく、もう少し時間をかけますよというような形にしていきたいと思います。

それに伴いまして、新校の開校、これは事務局からも先ほど説明にありましたように、前期の計画期間中に開校を目指したいと。

非常に難しい問題を抱えているわけですが、蓮沼中学校は既に単学級化しておりまして、学校運営上の課題が非常に大きいという中では、教育委員会としては、なるべく早くその問題を解決してい

なければならぬというふうにも考えておりますので、あくまでも前期計画中には開校に向けて進めたいと思っております。そういう形で、ここを前期計画期間中の開校に向けて検討をしますという形に改められればなと思います。

学校位置につきましても、現松尾中学校を統合位置としますと言いついて切っている部分を、学校として検討しますというふうにしていきたくて考えています。

この辺のところでご意見、ご協議をいただいてまとめていきたいというふうに思います。

市長 今、教育長のほうからありました。文言、一つ一つやればよろしいですか。発言をしますか。

教育長 今言ったところについてはご審議をいただければと思います。

市長 教育長のほうから、今、提案があったということでよろしいですか。

五木田委員 そういうようにしていただいたほうが良いと思います。

高柳委員 断定するのではなく、検討しますという言葉や前期計画中という言葉にしたらどうですか。

市長 いろいろなご意見あるので、ただ、私どもとして、あるいは教育委員会として、あり方検討委員会として、基本的には子どもたちのために必要だということを提案しておりますので、基本的な考え方を変えることではないと思います。

高柳委員 そうですね、表現の仕方を変えれば良いと思います。

市長 期間のことについて、どうでしょうか。

小野崎委員 今の内容でいいんですけども、私はここで最初に、定例会でもあり方でも話をしていましたけれども、望ましい学級数とかというもの、のみにしてきたはずなんです。望ましい学級数。小学校は1学年2クラス以上、クラス替えができる。中学校は、主要5科目のことを考えると、先生、1学年3クラス必要だと。このことをず

っと思っているので、それが単学級になってしまったので、このことだけは早めのほうが良いという意見があるんです。けれども地域としてはなかなか難しい。けれども、そのことだけは、この基準は忘れないようにしています。だから、その基準を、いつの機会か、早めに達成できるものであればしたいというのが基本にあると私は思っています。

市長

ですから、基本的な考え方については変えないということで、これはもう長い期間をかけてご検討をいただいて、基本的な考え方をしっかりとまとめていただいたということでもありますので、これからもその点につきましてはご理解を求めていかなければなりません。

これはあくまでも、私どもとして責任を持って、教育長もたびたび反対している方にも申し上げて、我々の責任はそこにあるということで、責任をとれる考え方を今までにおきましても示しているので、この点については、しっかりとこちらの考え方については、お示しは別な形でしていく、ここは変えることはないです。

ただ、地元としていろいろな感情もありますし、学校がなくなるというのは大変なことなものですから、そういった地域のことも考えて、少し皆様方のご理解をいただけるかどうか、前期計画の間に検討していくということでもまとめていきたいということで、それでよろしゅうございますね。

(「はい」の声あり)

市長

これを議会にこういった形でお示しをさせていただき、ご説明をさせていただきということですね。

教育長

この場で了解いただければ、その形に修正した上で、議会に説明をさせていただきたいと思っています。

今の部分、検討しますという形に改めていく中で、施設整備のところを、ここでは平成31年から33年まで仮設校舎を建設していくことをはっきりここでうたっているのです、この辺のところも、建てかえに伴う仮移転や仮設校舎の設置位置について検討しますという形に改めていきたいと思っております。

これでよろしいでしょうか。

高柳委員

いいと思います。

市長 「統合にあたっての施設整備の予定はありませんが」ということ
ですね。

教育長 はい。

市長 「松尾小学校の建て替えに伴い松尾中学校内に仮移転する関係」
というところを、「建て替えに伴う仮移転や仮設校舎の設置位置に
ついて検討します」ということで、松尾小学校につきまして、統合
という言葉は変えないんですが、整備のあり方について、位置、そ
れから設備の検討、仮設というようなことについては、これも検討
しますというふうに。

五木田委員 はい、検討ということで。

高柳委員 スケジュールのところも、開校1年前、開校2年前、開校3年前
というような感じでよいと思います。

市長 スケジュールについては、年度をそこへ出すことを避ける。

高柳委員 はい。

市長 ただ、開校年度は前期の計画期間中ということですね。
それでは、今、いただいたご意見でまとめさせていただいて、ま
た、表現について、少し変えたいということがありましたら個別に
ご相談させていただくという、表現的な問題ですね、そういったこ
とで、基本的な考え方としましては、ただいま事務局から、あるい
は教育長のほうから、今、提案されたような形を、私のほうとして
も決定して、総合教育会議としては決定したいと思いますが、よろ
しゅうございますか。

(「はい」の声あり)

市長 そういったことで、まとめさせていただきます。

教育長 同じように成東中学校、成東東中学校の部分につきましても、表
現の部分で少し変えていきたいと思っております。

成東中学校、成東東中学校の部分につきましては、計画が35年と
いうことで時間的にまだ余裕があること、また、生徒数の減少する

人数もまだ先まで安定しているということから、急ぐ問題ではないんですが、ここには成東中学校の老朽化というものがありますので、その関係から35年度を目指しておりますが、これも時間的な余裕がまだあるということで、この年度の部分をこの文章の中に「35年度で2校で統合します」というふうにはっきり書いてあるんですが、ここを2校での統合を検討しますという形にしてはどうかと考えています。

ただ、新校の開校というところでは、「35年4月1日に新設校を開校します」と言い切っているところを、「35年4月の開校を目指して検討します」というふうにしていきたいと思います。

市長 あくまでも成東東中学校を学校位置だということで、それも検討しますということになります。考え方としては成東東中学校を考えますということの基本とするということ。

教育長 はい。学校位置についても検討ということにさせていただきたいと思います。

市長 それでは、以上でこの学校の適正化・適正配置について、よろしいでしょうか。

教育長 今の蓮沼中学校と松尾中学校の計画案の中で修正しました施設整備についてなんですが、仮設の校舎の位置等について検討しますというところがございます。これと同様に、あわせて、豊岡小学校と松尾小学校の統合の部分におきましても、施設整備のところで、「松尾中学校の校舎の一部を使い仮設校舎を設置し、仮移転します」と表記しているのですが、ここも、先ほどの蓮沼中と松尾中のところに合わせて、仮移転や仮設校舎の設置位置については検討しますというふうに合わせたいと思います。

市長 よろしゅうございますか。

(「はい」の声あり)

市長 ちょっと私のほうで、生徒数の推計について、年度がバラバラになったりしているの、前期の最終年度の推計でそろえたいということをお願いをしたいと思います。

教育総務課長 はい。

教育長 今の集計の部分なのですが、推計の中で、中学校は37年、39年までとれているんですが、小学校においては、現状では33年度までしか数値が出てきませんので、その33年度をここに表記していきたいと思います。

市長 あとは1ページの「はじめに」というところは、資料の説明会を開いて、ここを踏まえて、今回、修正しますので、多少、そういった表現が変わる、そういうことですね。矛盾のないように、こっの上のほうは整えていきたいということですので、その辺は、事務局、しっかりお願いします。

小野崎委員 9月議会の予定はいつごろになるのでしょうか。定例会との日程の関係があるので。

教育長 9月議会では、14日に行われる文教厚生常任委員会の後の懇談会で、今回の修正案について説明をさせていただいてご意見をいただいた後、最終日の23日の全員協議会のほうで、議員の皆さんにこれをお示ししていく。その後で、教育委員会定例会、最終的な議決ができればなど、今、考えているところです。

市長 以上でよろしいでしょうか。
それでは、最初の議題につきましては、これで終わりにしたいと思います。

◎報 告

○地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業について

次は報告案件になります。

それでは、事務局のほうから、報告案件について説明をしていただけますか。

学校教育課長 それでは、報告案件、学校教育課のほうから3点ございます。

まず初めに地域人材活用教育支援プラットフォーム事業について、指導室長のほうから報告させていただきます。

指導室長 それでは、私のほうから説明のほう、座らせていただきます。

資料5、ページで言うと13ページをご覧ください。地域人材活用

教育支援プラットフォーム形成事業、教育課のほうではG A Aと呼んでいるものにつきまして、説明のほう、させていただきます。

まず、背景とされるものは4つということで整理いたしました。1番に出てくるのは、やはりさまざまな急激な社会変化による学校の抱える課題が複雑化、多様化している。2番目として、貧困問題、保護者からの要望等、やはり学校や教員だけでは解決できない課題が増大している。3つ目として、将来の予測が困難な時代、こういう時代を生き抜くために必要な力、対話、主体的で深い学び、いわゆるアクティブラーニング、そういう視点に立った授業改善が必要だと捉えています。4つ目として、教員の長時間勤務の実態ということがあります。

大きな2点目として、山武市の現状と課題ということで、教職員の多忙化は先ほども触れましたが、その辺、学校の現場はどうかということで、確認のために小中学校教職員へのアンケートを実施し、次の5つの観点で整理を進めているところです。

それらを踏まえながら、G A Aというのはどういうものかということで、理念のところを読ませていただきます。

これからの不確定な時代を生き抜く子どもたちを育てるために、学校や家庭だけでなく、地域や行政が一体となって学びを支援する必要がある。

そこで、「ゴールデンエイジ」という何でも吸収できる時期の子どもたちに、さまざまな知識と経験から大きなスキルを備えた「もう一つのゴールデンエイジ」、それを迎えている高齢者やそれ以外の地域の方からも、教育支援を通して、平和と幸福に満ちた黄金時代（ゴールデンエイジ）を私たちの山武市に築くことを目指して、できる限り学びのサポートをすることで、明るい未来への希望を育てること、そして、かかわる全ての人々の心に黄金の輝きを生むこととであり、そういうことを目指した取り組みを進めていくということとあります。

それでは、山武市の子どもたちに育みたい力ということで、（2）ということ、2枚目になりますが、基礎学力、これはもちろん充実させることが一番基本となりますが、それ以外にも課題解決能力、コミュニケーション能力、コラボレーション（チームワーク）能力、自立的に学習する力、ICTリテラシー、それらの21世紀型スキルと呼ばれる力に視点を当てていく必要があると考えております。

そこで、さまざまな課題を抱え、その対応に追われている学校現

場の現状から、これらの力をはぐくみ、身につけさせるための方策を、教育委員会として打ち出していくために、この事業をスタートしております。

その中で、子どもたちに必要な支援のあり方はもちろんであります。今、考えられる教育プログラムということで、さまざまな内容が考えられるわけですが、多岐にわたっております。(1)学童保育や放課後子ども教室、土曜授業等、そこには6点挙げてありますが、これ以外にも出てくるかなとは思いますが、とりあえずはこれらのことについて話し合いを進めていく予定であります。

また、現在、山武市で取り組んでいる英語教育推進を含め、成田空港の求めている人材育成、そういうことにつながる教育内容についても考えていく必要があると捉えております。

では、現在というか、本年度の取り組みということで、最後に書かせていただいております。現在、調査研究員4名による定例会議を毎週火曜日に実施し、今まで述べたようなことについて検討しております。

今後の予定であります。先進地の視察、先進事例の調査・研究、これは必要に応じて随時となりますが、それ以外にアンケートを活用しての実践及び実証実験に向けての準備のほうを、この後、進める予定です。

そして、中核となる人材を、人材センターとなるか、名前としては、一応、仮称であります。教育支援センターということで、それを設立するということ、1つの目当てということで、29年度、平成30年1月の設立を目指すということで、これから準備のほうを進めていく予定であります。

簡単ですが、私のほうからは以上です。

市長

ただいま、GAAについての説明がありましたが、これは一つずつご意見をいただくんでしょうか。報告ということでよろしゅうございますか。よろしいでしょうか。

それでは、3つあるということで、次に。

○山武市中学校英語教育推進事業について

学校教育課長

それでは、続きまして、私のほうから資料の15ページ、山武市中学校英語教育推進事業について、報告をさせていただきます。

この事業については、主にこの2つの取り組みについて報告をさ

させていただきます。1つ目、英語力アップ講座でございます。市内の全6中学校の2、3年生を対象に英語力の向上を目指すというものを実施しております。なお、このアップ講座であります。学校の授業とは別に実施していくということから、この夏休み中、また2学期の土日を利用して計画を立てているところでございます。

実施回数であります。各学校とも2回、それぞれ1回につきましては2講座を2時間実施しているところでございます。既に全中学校では、1回目の講座がこの夏休みを利用して終了する予定となっております。

続きまして、2番目でございます。英語検定の補助ということについて報告をいたします。これについても、市内の6全中学校の2、3年生を対象に実施しております。ここに記載しておりませんが、市内中学校2、3年生全員で861名でございます。

なお、この補助につきましては、英語検定の全額補助ということでもありますので、861名に対し1人1回の補助をしていくというところでございます。なお、級によって受検料が若干異なりますので、それぞれ受検する級に対して対応していきたいと思っております。

なお、この検定であります。年に3回実施しております。6月、10月、1月というところで、既に6月の受検については、3校で受検をしております。計画の中の6月10日というところでございます。なお、第2回目の10月に行われる検定については、全ての学校で多くの生徒が受検を予定しているところでございます。

英語力推進事業については以上でございます。よろしくお願いたします。

市長

この点については、よろしいでしょうか。
次の報告をお願いします。

○山武市小中学校共通ダンスプログラムについて

学校教育課長

続きまして、16ページ、資料7でございます。山武市小中学校共通ダンスプログラムについて、報告をいたします。

初めに狙いですが、16ページの四角の中に枠に囲ってありますところをご覧ください。具体的な取り組みについて、私のほうからお話をさせていただきます。

1番、オリジナルダンスをつくっていくということで、ヒップホップダンスを作成していくということで取り組んでおり、既に曲ま

た振りつけについても完成をしました。名前についてですが、「ONE To SUN-MU～S-dream～」ということで、名前を、一応、つけさせていただいております。

現在のところ、各中学校区単位で、先生方を対象に講習会を実施しているところでございます。なお、このダンスにつきましても、初級、中級、上級という段階で作成させていただいております。なお、このダンスのDVDも、現在、作成が終わりまして、この後、それぞれの学校に配付をしながら、それをもとに学習していくというところでございます。

なお、今後であります、このダンスの普及に向けて、それぞれの学校の取り組みをしていきたいと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

市長

何かご意見がございませうか。

今年、合併10周年の式典をやるんですが、その中で披露してもらおうと考えているんですが、まだ具体的なところまでいきませんけれども、幼稚園で取り組んでいる先生もいらっしゃるし、小さな子から上手な子まで、うまくできればいいんですが。

次に、今後のスケジュールというのがあるんでしょうか。

○今後の予定について

教育総務課長

それでは、18ページ、資料8をご覧ください。

総合教育会議の今後の予定ということで、お示しをさせていただいております。開催時期は11月ごろ、教育関連施設の効率的な管理及び効果的な活用についてということで、指定管理のことについてお話をさせていただければと思っております。それと、平成29年度の教育予算について、重要施策等について会議を開催させていただきたいと思っております。

続いて、2月から3月ごろ、山武市立小中学校の規模適正化・適正配置についてということで、下の表をご覧くださいなんですが、こちらは基本計画案が9月に成案化された場合なんですが、10月から12月にかけて、対象地域の実施計画の案というものをつくってまいります。その計画についてのあり方検討委員さんたちのご意見もいただきながら、10月から12月にかけて作成をしたいと思っております。

その後、1月から2月にかけて、対象学校区でそれぞれ説明会、

また意見を徴取してまいります。

3月には、また学校のあり方検討委員会を開催いたしまして、説明会の結果報告などをさせていただきたいと思っております。

総合教育会議では、2月から3月ごろ、学校の規模適正化・適正配置について、実施計画等についてご協議をいただけたらと思っております。

そのほかに、臨時として、児童・生徒の生命身体の保護等緊急の場合に講ずべき施策、こちらはいじめ等の関係で、もし臨時に開くことがあればお願いしたいと思っております。

以上でございます。

市長

スケジュールはよろしいでしょうか。よろしくお願い申し上げます。

それでは、ありがとうございました。これで終了させていただきたいと思えます。

教育部長

それでは、以上で平成28年度第1回山武市総合教育会議を終了いたします。

お忙しいところ、ありがとうございました。

◎閉 会 午後4時45分